

【資料1】各園の今年度目標・特色等（まとめ）

今年度、園として頑張りたいところ、園で目指す特色等

1. 西脇こども園

【主幹教諭から】

- 行事の中で、子ども主体で保育を進めている。
- 今現在、5歳児は今週末のデイキャンプに向けて意欲的に取り組んでいる。
- それぞれの保育者において「保育環境の悩み」や「援助の仕方の悩み」等がある。
- 外国籍の子どもや、支援の必要な子どもたちも多く、クラス運営に悩みながら進めているところである。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・保育者の愛情豊かな受容により、気持ちよく生活できるようにする。
- ・一人一人の成長に合わせて関わりをもち、情緒の安定を図る。
- ・一人一人の成長や発達に合わせて丁寧に関わっていく。
- ・先生や友だちと関わる中で、「楽しい」「自分で」という経験ができるように保育していく。
- ・「自分でやりたい」という気持ちを受け止めながら、自分でできることを増やしていく。
- ・いろいろな体を動かす遊びを取り入れていきたい。
- ・子どもたちの気持ちを受け止めながら、伸び伸びと穏やかに過ごせるようにする。
- ・子どもたちが様々な経験ができる保育をする。
- ・子どもたちの興味・関心を捉えながら、環境を整えていく。
- ・子どもたちと一緒に様々な経験ができるようにしていく。
- ・子どもたち一人一人が自己表現できるような場を多くつくる。
- ・興味をもったことに挑戦できる環境を整える。
- ・友だちと協力する楽しさを知り、他者を大切に思う気持ちを育む。
- ・「やってみたい」という子どもたちの思いを大切に保育を進める。

2. 比延こども園

【園長から】

- 自然に囲まれた環境で、地域の方とも密で、助けもある。
- 自然の中でいろいろな物、人に関わり、興味をもって幅広く経験し、楽しんでほしいと思っている。
- 子ども達も生き物が大好き。
- 6月から健康草履をはいている。
- 水遊び、泥遊びが大好き。4. 5歳児は6月末泥田で楽しんで遊んだ。
- リズム体操はどの学年もしている。小さい子も楽しんでやっている。
- 課題はその都度考えていきたい。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・好きな遊びを見つけられる環境構成を作る。
- ・「やりたい」という意欲がもてるような言葉かけをする。

- ・「自分でやりたい」という気持ちを受け止め、大切にしていく。
- ・クラスの雰囲気合った活動や全体的な遊びだけでなく、個人の遊びも深められるよう工夫する。
- ・自分の思いを伝え、相手の気持ちに気付けるよう取り組みたい。
- ・一人一人を見極め、個々に合った支援ができるように意識するとともに、どう友達とつなげていくか。

3. どれみこども園

【園長から】

- ここ数年は環境について研修をしてきた。
- どのクラスもドキュメンテーションを作り、自分の保育の振り返りを行っている。
- R6年度の5歳児は、キノコに興味をもち、自分達で紙芝居や絵本を作成していた。
- 5つの保育目標について教え込むのではなく、保育の中で自然と子どもの姿に近づくようにしている。
- 1年の見通しはもっているが、本日の助言をもとに子どもの活動を見ながら方向づけしていきたい。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・保育者や友だちとかかわり、安心して生活を送ることができるようにする。
- ・集団生活を送る中で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
- ・さまざまな経験を通して、友だちへの関心を広げていく。
- ・いろいろな遊びの中で保育者や友だちとのやりとりを楽しめるようにする。
- ・好きな遊びを見つけたり、自分から取り組みたりするような活動を取り入れる。
- ・自分のことは、進んで自ら行おうとできるよう関わっていく。
- ・自分の気持ちを自分の言葉で相手に伝え、相手の話も聞くことができるよう関わっていく。
- ・身の回りの整理整頓を心がける。
- ・自分の言葉で伝えたり、友だちの思いを聞いたりできるよう援助する。

4. 日野こども園

【園長から】

- 園児像は、①いきいきした元気な子②友だちとなかよく遊び、がんばる子③興味や関心を大切にし、感性豊かに表現できる子
- 職員像は、「大切にしている視点真心をこめて教育保育をする」。
- 0～5歳児で140名になった。有難いことに前年度と比べ、園児数が10名ほど増えている。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・簡単な身の回りこと（一人で給食を食べる、腕まくりをする、手を洗うなど）が出来るように援助していく。
- ・手作りおもちゃを作る。
- ・子どもの興味・関心のあることを保育の中に存分に取り入れていきたい。
- ・生活習慣や簡単な身のまわりのことが出来るように援助していきたい。
- ・子どもと関わりながら、子どもの興味や関心のあることを捉え保育の中に取り入れていく。

- ・子どもの好きな遊び、ごっこ遊びが展開していくよう環境を整えていきたい。
- ・運動遊びを取り入れ、体を動かすことを楽しめるようにしていきたい。
- ・身の回りのことを意欲的に取り組む。
- ・保育者や友だちとたくさんの感動体験ができたらいいなと思う。
- ・コーナー遊びを充実させたい。
- ・ごっこ遊びや簡単なゲームを通して友だち同士で関わり遊ぶ楽しさを味わう。
- ・子どもたち自身が様々なことに興味をもてるようにしていきたい。
- ・話をしっかり聞いて行動する。
- ・集団遊びを多く取り入れ、仲間意識を持つ。
- ・相手の話に耳を傾け、最後まで聞くことを意識できるようにしていきたい。
- ・様々なことに興味を持ち、自分で考えて取り組むようにしていきたい。
- ・振り返りや話し合いの時間を大切にしながら、活動を進めること。
- ・好きな遊びや、興味をもったことに対して、探求したり学びを広げられたりできるよう環境を作ること。

5. かすがこども園

【園長から】

- 今年度の取組（園内研修）は「体を動かして遊ぼう！」。担任の先生方からの意見、要望より取り組むことにした。
- 加配の必要な子が増えてきている。
- 現場に任せている。
- 2人、支援室で個別に対応している。
→「インクルーシブ」であり「一緒に」は大切だと思うが、クールダウンの時間は必要だと感じる。「全て一緒」は難しく、別々に過ごすこともある。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・保護者も子どもも、ともに信頼関係を築き安心して生活できるようにする。
- ・子どもたち一人一人の発達段階を把握し子どもたちに合った環境づくりをする。
- ・子ども一人一人の発達に合った環境を整えたり、援助したりしていきたい。
- ・子どもの気持ちに寄り添って安心して過ごせるようにしていきたい。
- ・保育者との十分な関わりの中で、一人一人が好きな遊びに夢中になれる環境を作る。
- ・保育者に手を添えてもらいながら自分でできた喜びを感じられるように関わる。
- ・個々の発達に応じた環境構成や援助方法
- ・子どもたちの好きなことや興味のある遊びを通して、友だちと関わりをもつ。
- ・自分の気持ちを簡単な言葉や仕草で表現できるよう、子どもたちの気持ちを聞く。
- ・子どもたちの好きな遊び、関心のある物が広がるような関わりと環境づくり
- ・子どもたちのさまざまな興味を引き出せる保育をしていきたい。
- ・子ども一人一人が安心して自分の思いを伝えられるようにしていきたい。
- ・一人一人に合った言葉かけや対応をしていきたい。
- ・友だちとの関わりを広げていきたい。
- ・友だちとの関わりを深め、協力して活動する楽しさを味わってほしい。
- ・一人一人の頑張りを認め、自信をもって活動できるように成功体験を増やしていきたい。

- ・友だちと協力して生活や遊びを進めていく楽しさを感じられる保育を取り組みたい。
- ・子どもの発見や気づきに共感し、遊びに取り入れていく楽しさを感じる保育をしたい。

6. つまこども園

【園長から】

- 今年度のテーマ【基礎が身につく こども園】
- 小学校への基礎として「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に基づいた力をつけていきたい。
- 発達に応じた運動遊びにも力を入れていきたい。
- 絵本の読み聞かせによって心を育てたい。
- 園児一人一人の個性や表現を大切に、実態に応じた対応・保育を目指す。
- 「信頼」を作ることは難しいが、小さいことの積み重ねを大事にし、「信頼感のある」園にしたい。
- 6月より連絡アプリを試験導入する。小野市・神戸市シェア100%の「コドモン」
- 食物アレルギーがある子どもたちも一緒に食べられるメニューを年3回実施している。
- 園環境の整備もR4から計画的に進行しているが、最終段階。R8には完了予定。
- 働きやすい職場づくりにも力を入れており、R7.4月の育児介護休業改正に合わせ、就業規則を一部改訂し、復帰の際に働きやすい環境にする予定。
- 今後の園の特色化や地域とのつながりのために、11月の「田空まつり」に出る予定。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・スキンシップをたくさんとって子ども達との信頼関係を深めていきたい。
- ・子ども達の発達や興味関心に合わせた環境作りをしていきたい。
- ・メリハリをつけて子ども達と楽しんで生活をする。
- ・子ども達の興味のあることや自分達でできることを、十分に伸ばしていきたい。
- ・発達の個人差を受け入れ、その子に合った関わり方や援助をする。
- ・安心して自分が出せるように、一人一人との信頼関係を築く。
- ・本児の伝えたいことを自分から伝えられるように意識して取り組んでいきたい。
- ・基本的な生活習慣が身に付くようにしていきたい。
- ・発言の場では、自分の気持ちを大事にし、友だちの気持ちにも気付くような環境をつくる。
- ・自分で作りたい物を見つけたり、イメージした物を形にしていったりすることを楽しむ。

7. 芳田こども園

【園長から】

- 要覧は今年新たに作成する予定。
- 教育・保育目標 【感性の芽生えを大切に、生きる力の基礎をはぐくむ】
→感性の芽生えを具現化していきたい。
- 各クラス職員は2名以上配置している。
- 職員を5グループに分けて、各グループで行事（誕生会等）を計画し、職員会議で諮って共通理解している。大変だが大切にしている。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・安心して保育者と信頼関係を築くことができるようにする。
- ・子どもに合わせた安全な環境作り
- ・保育者と信頼関係を築くことができるようにする。
- ・好きな遊びをしながら、友だちと一緒に遊び、楽しめる環境作り
- ・音に合わせて様々な動きや、体を使って遊ぶ楽しさを味わう。
- ・子どもの気持ちに寄り添いながら丁寧に関わる。
- ・子どもの好きな遊びが十分に楽しめるように環境構成を整えていく。
- ・子どもたちが興味のある遊びに寄り添いながら、遊びを発展させていく。
- ・自分の気持ちを言葉で相手に伝えられるように人前で発表する機会を増やしていく。
- ・子ども達が夢中になって遊び込めるような環境を整えていきたい。
- ・振り返り時間を生かして、認めたり、認めてもらったりしながら自信に繋げていけるようにしていきたい。

8. 黒田庄こども園

【園長から】

- 特支の推進・研修。支援の必要な子が増えている。支援の必要な子への配慮が、全ての子にとってより良い支援になる。園と保護者との連携。園と関係機関の連携をとる。5歳児健診（今年度から）については、子どもの学びにくさを早期に発見する機会であり、子ども自身のより良い生き方を探る大切な機会と捉えている。
- 地域力の活用と連携。町づくり協議会、子育てサークルと連携し、様々な人材を活用している。グローバルであるが、ローカルである地域の良さを感じてほしい。
- 園小接続の取組。こども園の職員、学校職員で互いに理解し合っていきたい。
- デジタル機器の活用。「保育DX」は、市内どこにも進められている。電子黒板（1台100万円程）の導入予定している。いろいろな使い方で、更に深い学びにつながるよう、十分な利活用をしていきたい。個々の園児理解、保護者に真摯に向き合うこと、職員の協力体制をしっかりとしていきたい。また、子どもの伸びている姿が話題にあがる現場でありたい。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・一人ひとりの生活リズムを大切に、安心して過ごせるようにする。
- ・子どもの思いを受け止め、安心できる環境の中で保育者と一緒に好きな遊びをする。
- ・子どもたちが安心して過ごせる、興味や関心を引き出していけるような環境作りを心掛ける。
- ・一人ひとりの気持ちに寄り添いながら保育をしていきたい。
- ・子どもたちの興味、関心を持ったことに目を向け、一人ひとりの気持ちに共感していきたい。また、興味が一層深まるような環境構成を考えていきたい。
- ・友だちと関わりを持つことの楽しさを味わえるようにしたい
- ・一人ひとりが活動や生活に自信をもって過ごせるように取り組んでいきたい。
- ・友だちとのかかわりを通して、相手の思いを知るとともに自分の思いを言葉で伝えられるようになりたい。
- ・子どもが主体的に生活できる環境づくり。
- ・子どもたちの自己肯定感を高めていけるような活動・関わり・援助。